

鹿児島医セン

鹿児島医療センター（循環器・脳卒中・がん専門施設）

2011.7

vol. 63

第9回脳卒中市民講座

去る6月5日（日）、第9回脳卒中市民講座をがごしま県民交流センターで行いました。平成15年に第1回を開催して以来毎年行ってきたものです。一般市民を対象として、広く市民に脳卒中の知識を普及させ、脳卒中の予防、早期治療への理解を深めることを目的としていますので、当院の他、日本脳卒中協会鹿児島県支部、鹿児島市医師会、鹿児島県、鹿児島市、鹿児島県医師会、田辺三菱製薬の共催で行ってきました。



今回は、「もし脳卒中にかかったらーその時どうするー」というテーマの講座としました。

先ず、山下正文院長の開会挨拶に続いて、以下のパネルディスカッションを行いました。

脳血管内科 中島隆宏医師：「脳血管内科医の立場から～脳梗塞超急性期治療から再発予防まで～」

脳神経外科 浜崎禎医師：「脳神経外科医から～急性期治療の実際～」

5階病棟（脳卒中センター） 養田尚美看護師長：「看護師の立場から～まず、あなたにできること～」



リハビリテーション科 鶴川俊洋医師：「リハビリ科医の立場から～重症度に応じた急性期リハビリ～」

薬剤科 川添希薬剤師：「薬剤師の立場から～薬の飲み方、新薬の登場～」

栄養管理室 渡邊和美室長：「栄養士の立場から～その時、食事はどうなる～」

司会は濱田陸三脳血管内科部長、永重ひとみ看護師長が行いました。

各パネリストとも美しいスライドを使った大変分かりやすい説明で、事後のアンケートでもそれぞれ大変に好評でした。

その後の質問コーナーでも多くの質問が出ましたが、各パネリストによる丁寧な説明に納得された様子で、殆どの方が最後まで熱心に聴き入っていました。

最後に中重敬子看護部長が、5階病棟（脳卒中センター）のカンファランスの様子をスライドで紹介しつつ閉会の挨拶をして無事市民講座を終了しました。

当日の天気は大雨で、落雷までであるなど悪条件が重なりましたが、鹿児島市以外にも霧島市、薩摩川内市、南さつま市、曾於市、鹿屋市などから500名を超える来場者があり、殆ど満席状態となったため急遽通路に折りたたみ椅子を配置しました。

この様に当院の脳卒中市民講座は、パネリストから裏方まで院内全ての部署が献身的に協力して成り立っているものですが、これだけの内容のパネルディスカッションを全て自院のパネリストでまかなうことができることをあらためて誇りに思う次第でした。

事後のアンケートでは、95%の方が「とても役に立った」、「役に立った」と回答し、92%から「次回も参加したい」との回答を頂きました。

次回は平成24年5月27日(日)にかごしま県民交流センターで行う予定としています。

末筆ながら、今回の市民講座に共催頂きました、鹿児島市医師会、鹿児島県、鹿児島市、鹿児島県医師会、日本脳卒中協会鹿児島県支部、田

辺三菱製薬に感謝申し上げます。

(文責：脳血管内科部長 濱田 陸三)

第9回脳卒中市民講座



最新の治療法紹介 産婦人科腹腔鏡下手術

最近の腹腔鏡下手術の進歩と普及は目覚ましいものがあり、産婦人科領域も例に漏れません。平成23年6月より、この鹿児島医療センターでも導入を開始しました。

実際の手術は全身麻酔下(十硬膜外麻酔)に、まず臍を開放し腹腔内に到達しそこから10mmの内視鏡カメラを挿入します。テレビモニターで腹腔内の状態を確認しながら操作を行っていきませんが、その際に二酸化炭素を腹腔内に注入し操作空間を作ります。操作のための鉗子を挿入する小さい穴を数カ所あけてその鉗子を使いながら手術を行っていくものです。摘出物を体腔外に出すためにはその大きさに応じていろいろ工夫をしています。

腹腔鏡下手術とは、開腹手術と違い手術創が小さいというのが最大の特徴です。実際、術後の疼痛が少なく、翌日にはほとんど術前と変わりなく行動できています。また、整容性に優れているため、女性にはうれしいところではあります。ただ開腹が3Dの世界での手術だとすると、腹腔鏡は2Dの世界での手術であるため、術者にとっては技術のいる手術ともいえます。二酸化炭素を腹腔内に注入するという特殊性もあります。また、腹腔内という限られた空間で行っていきますので、合併症には気をつけていきたいところです。

最近はさらに侵襲を少なくするという観点から、またそれに追いつくような手術器具の発達・改良から単孔式手術という臍からだけのアプローチで手術をすることもできるようになりました。適応も婦人科良性疾患(子宮



外妊娠、卵巣腫瘍、子宮筋腫、子宮内膜症)や卵巣腫瘍合併妊娠だけではなく、外科・泌尿器科など他科同様に悪性疾患への応用も進んできています。

当院では導入と同時に卵巣腫瘍はすでに数件実施しています。今後は子宮疾患に対しても適応があれば行っていく予定です。適応と患者の利益と十分に配慮しながら、術式を選択していきたいと思っています。

また、鏡視下手術ということでは子宮鏡による手術も行っていく予定です。

実際、腹腔鏡下手術を希望される患者も増えてきているといわれます。皆様のご要望に応えられるように努力していく所存ですので、今後ともよろしく願いいたします。

今後は子宮外妊娠や卵巣腫瘍捻転も積極的に行っていく予定です。よろしく願いいたします。

(文責：産婦人科医長 児島 信子)

造影剤副作用カードについて

この度、当院では造影剤副作用カードを採用することと致しました。

副作用の生じた日時・造影剤の種類・即時性/遅発性副作用の区別・重症度・生じた施設などについて記載し、次の検査で同じ造影剤を使ってしまわないよう、副作用情報を地域で共有、患者さんの安全を図る目的のものです。

患者さん自身でこのカードを大切に保管してもらい、当院に限らず、病院を受診するときには必ず携帯していただくことになります。

ご協力のほど、お願いいたします。

なお、このカードは日本放射線専門医会・医会が作製し、普及を図っているものです。

(文責：放射線科医長 米倉 隆治)

造影剤副作用の記録

検査日時 検査の種類	造影剤の種類	即時性/遅発性 副作用状況	重症度	記入施設名 病状
2008.11.02	造影剤A	(A) B	II	
	造影剤B	A B		
	造影剤C	A B		
	造影剤D	A B		

選択項目

検査名	造影剤の種類	MRI造影剤の種類
1 イソフラビロン	【その他】	【その他】
2 イソトロン	【その他】	【その他】
3 イソキサシール	【その他】	【その他】
4 イソキサシール	【その他】	【その他】
5 イソキサシール	【その他】	【その他】
6 イソキサシール	【その他】	【その他】
7 アブソーブ	【その他】	【その他】
8 ベルサックス	【その他】	【その他】
9 イソキサシール	【その他】	【その他】
10 イソキサシール	【その他】	【その他】
11 イソキサシール	【その他】	【その他】

選択項目

A: 即時性	B: 遅発性
【その他】	【その他】
【その他】	【その他】
【その他】	【その他】

生年月日(西暦) (年) (月) (日) 性別 (男) (女) (中)

病状

【検査検査 / 検査場所 / I/M / TC】
【検査検査検査検査】

造影剤副作用カード

日本放射線専門医会・医会からのお知らせ

このカードは、日本放射線専門医会・医会が発行しているカードです。
カードは、CT / MRI / 血管造影 / 尿路造影で造影剤による副作用があった患者さんにお渡ししています。画像診断の検査を受ける際には必ずこのカードを生主医および検査室のスタッフに表示ください。

新任紹介



脳血管内科 医長 わきた まさゆき
脇田 政之

この度平成23年6月1日付で厚地脳神経外科神経内科から赴任致しました。当院での勤務は平成12年5月~16年6月以来二度目となります。主に脳梗塞治療を中心に地域医療の充実に貢献できるよう尽力したいと思います。慣れない事も多く今後みなさまに御迷惑をお掛けする事も多いと思いますが、御指導のほど宜しくお願い申し上げます。



産婦人科 医長 こしま のぶこ
兒島 信子

平成23年6月1日より産婦人科に就職しました。まだ九州循環器病センターの名称の平成17年12月に退職し、産婦人科腹腔鏡手術を中心に見聞を広げてきました。その経験などを生かしながら、またこの病院で勉強させていただきたいと思っています。飲み・遊びも相変わらずですので、気兼ねなく声をかけてください。今後ともよろしく願いいたします。

循環器合同カンファレンスへのお誘い

当院では、毎週月曜日・午後6時から手術摘要症例などについて、循環器内科・心臓血管外科・麻酔科・リハ科など合同で症例検討会を開いています。オープンですので治療方針等について悩んでいらっしゃる症例がありましたら提示していただき、一緒に検討できればと思います。遠慮なくご参加お願い致します。

問い合わせ先 鹿児島医療センター 地域医療連携室
 電話 099-223-1151 (内線 7344) FAX 0120-334-476

平成23年度 クリティカルケア看護学習会年間計画

集中ケア認定看護師による継続教育にご参加しませんか？多数の出席をお待ちしています！

●開催時間：17時45分～18時45分 ●講師：集中ケア認定看護師 田代 祐子

日付	テーマ	レベル	場所
7月20日	せん妄、鎮静・鎮痛管理	初級～中級	研修棟3階
8月23日	体位管理	初級～中級	会議室
9月20日	急性期の栄養管理	初級～中級	会議室
10月19日	人工呼吸器について	中級	会議室
11月15日	水・電解質・輸液管理	中級～上級	会議室
12月20日	呼吸障害のアセスメント	中級～上級	会議室
1月17日	急性期における看護診断、アセスメント	初級～中級	会議室
2月21日	急性期の脳血管障害のある患者の看護	初級～中級	会議室
3月19日	長期臥床安静に伴う合併症予防	初級～中級	会議室

初級 新人看護師～卒後3年目またはICU配属1年目の看護師
 中級 卒後4年目以上またはICU配属2年以上の看護師
 上級 基礎知識を有し、さらに専門的な知識の習得を目指す看護師

申し込み先 看護部長室教育担当 深川 **電話** 099-223-1151 (内線7264)

平成24年度 初期研修医募集

- 募集人数 臨床研修プログラム Aコース 8名 Bコース 7名
(研修プログラムについては下記問い合わせ先までお願いします)
- 募集資格 第106回医師国家試験(平成24年3月実施)受験予定者
- 募集期間 平成23年4月1日～8月5日(必着)
- 選考方法 書類審査、面接選考のみ
- 選考日 第1回目 平成23年7月29日(金) 第2回目 平成23年8月11日(木)

問い合わせ先

鹿児島医療センター 〒892-0853 鹿児島市城山町8番1号

電話 099-223-1151 **FAX** 099-226-9246

E-mail h-oowatari@kagomc2.hosp.go.jp 管理課 庶務班長 大渡 日奈子



今年の梅雨は例年になく早い梅雨入り・梅雨明けとなりましたが、梅雨明けしたはずの今も大雨が続いております。さて、先月24～25日に京都で行われた第13回医療マネジメント学会学術総会に参加してきました。私は『効果的な退院支援における地域医療連携室の取り組み』という演題で当連携室を代表し

編集後記

て発表させて頂きました。発表することに慣れておらず緊張の連続でしたが、なんとか無事に発表を終えることができました。また、各施設の取り組みを勉強でき、参考になることが多々あったので今後に活かしていきたいと思います。
(担当:井上)

■お問い合わせ先 独立行政法人 国立病院機構 **鹿児島医療センター** (循環器・脳卒中・がん専門施設)

〒892-0853 鹿児島市城山町8番1号 (代)TEL 099(223)1151 FAX 099(226)9246
<http://www.kagomc.jp> 脳卒中ホットライン ▶ **090(3327)5765**

【地域医療連携室】 濱田・今泉・永重・井上・神崎・森・中島・吉留・木ノ脇・水元・酒井
 直通電話 ▶ 099(223)4425 フリーダイヤルFAX専用 ▶ 0120(334)476
 ※休日・時間外は当直者で対応します。

